

制度としての日本医療

— 優れた制度、脆弱な構造 —

2020年冬にCovid-19（新型コロナウイルス）の感染爆発が始まって2年半。欧米先進国と比較してわが国の死亡者・感染者の数は少ない一方、医療機関の逼迫は第一波から今までずっと続いたままだ。いったい、日本の医療は優れているのか、脆弱なのか。

この疑問を考えるには、歴史を俯瞰し医療を制度としてとらえることが重要だ。なぜなら医療とは、科学技術の医学という側面に加えて、健康保険や免許制度、公衆衛生など社会制度でもあるという特質をあわせ持つからである。

総医療費が安く、受診はしやすい。そして国民は健康で長寿。日本の医療制度は世界的に見ても明らかに優れている。それならなぜ、少ない感染者で「医療崩壊」が起きてしまうのか。制度としての医療の特徴を明らかにして、私たちにとって重要な今後の医療を考えるきっかけとしていきたい。

日時 2022年 **10月15日** (土)
13:00 ~ 14:30

会場 関西大学 梅田キャンパス
8階ホール
大阪市北区鶴野町1番5号



ハイブリッド開催 Zoom有

聴講無料

オンライン同時配信

事前申込制

対面参加：先着80名

講師

そうまえ きよさだ

宗前 清貞氏

関西学院大学
総合政策学部教授
(行政学、公共政策)

プロフィール

1964年埼玉県所沢市生
東北大学法学部、同大学院修了、博士(法学)。
琉球大学法文学部、大阪薬科大学を経て2016年から現職。
主な著書に『日本医療の近代史』(ミネルヴァ書房)、『日本政治研究
事始め(大嶽秀夫オーラルヒストリー)』(ナカニシヤ出版)など。



申込方法

事前申込制

対面参加：先着80名

右記QRコードより申込フォームにアクセスの上、お申込み下さい。

<https://forms.gle/c2kX2CVtQBf38D3S9> 申込締切 10月12日(水) 17:00

申し込みフォームを利用されない方は、氏名・ふりがな・所属・連絡先(電話番号・メールアドレス)・参加人数・参加方法(来場orオンライン)、件名に「10/15公開講座申込」を明記の上、下記のお申込み先(関西大学 研究所事務グループ)までハガキ、FAX、E-mail (keiseiken★ml.kandai.jp)でお申込みください。※アドレスの記号「★」を「@」に置き換えて下さい。



参加者の皆様におかれましては、感染防止策を講じて頂きますようご協力お願い申し上げます。



関西大学

関西大学研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号 E-mail: keiseiken★ml.kandai.jp

TEL(06)6368-0653/FAX(06)6339-7721 ※アドレスの記号「★」を「@」に置き換えて下さい。

関西大学は2022年に大学昇格100周年を迎えました

最新情報発信中!

ぜひフォローをお願いします。



@touzaiken.keiseiken.hogakuken
[東西研・経政研・法研] 関西大学3研究所合同



@KU_kenkyusho 関西大学文系3研究所

